

地獄谷は北海道の宝！

～登別温泉地獄谷が北海道遺産に選定される～

10月22日(金)、北海道遺産構想推進協議会による北海道遺産の第2回選定分27件が発表され、『登別温泉地獄谷』が選ばれました。

北海道遺産は、道内のかけがえのない有形、無形の財産を後世に引き継ぐことを目的とし、選考に当たっては現地調査が行われ、学術的、美的価値とともに地域住民との関わりなども重視されました。

北海道遺産には、これまで噴火湾沿岸の縄文文化遺跡群（伊達市など）や昭和新山国際雪合戦大会（壮瞥町）など、第1回選定分と合わせて52件が選ばれています。

なお、登別温泉地獄谷の関連では、平成13年11月に環境省の『かおり風景100選』に『登別地獄谷の湯けむり』が選ばれています。



さらなる交流促進のために

～友好交流促進都市・広州市訪問～



▲小学校視察（広州市）

11月4日(木)から8日(月)まで、中国広東省広州市を、公式訪問団（団長上野市長）13人と市民訪問団24人が訪問し、友好を深めました。

広州市とは、平成14年5月に『友好交流促進都市の盟約』を締結、昨年9月には広州市から120人の訪問団が登別市を訪れています。

盟約締結3周年を記念して行われた今回の訪問では、広州市政府（市役所）や広州市人民代表大会常任委員会（市議会）などを訪問したほか、小学校やオリンピックセンター、国際コンベンションセンターなどの施設を視察しました。

広州市政府への表敬訪問では、「北海道との直行便が一日も早く就航するよう働きかけたい」と上野市長があいさつ。広州市珠江公園では、市民訪問団の皆さんが広州市の市木である木綿20本を記念植樹しました。

市民の思いを届けました ～007ロケ誘致署名簿を伝達～

11月7日(日)、香川県高松市で、世界的な人気スパイ映画『007』シリーズ最新作のロケと映画化の実現をめざす、『007ロケ誘致署名簿伝達式・第2回署名エージェント会議』が行われ、登別市の内田助役が香川県の川北副知事にロケ誘致を願う市民など2万4,503人分の署名簿を手渡しました。

『007』シリーズの最新作『赤い刺青の男』（小説）の舞台には、香川県をはじめ登別温泉や市内のテーマパークなどが登場。このロケや映画化の実現は、登別を世界にPRする絶好の機会として、市は8月中旬から町内会や観光客などに署名への協力をお願いしてきました。署名簿は、香川県分と併せ、来年1月にイギリスの映画製作会社に届けられる予定で、市は年末までさらに署名活動を続けます。



▲香川県の川北副知事に署名簿を手渡す内田助役